

# Contents

## 第1章

### はじめに

はじめに	002
01 ■ まとめシートの効果的な使い方	004

## 第2章

### 経済学・経済政策

00 ■ 最低限覚えてほしい経済学で使う数学	010
01 ■ 費用関数と生産関数	016
02 ■ 無差別曲線	022
03 ■ 需要曲線と供給曲線	026
04 ■ スルツキー分解・期待効用仮説	030
05 ■ 余剰分析	034
06 ■ 独占・自然独占・寡占	038
07 ■ ゲーム理論・比較優位	042
08 ■ 市場の失敗	046
09 ■ GDPと物価	050
10 ■ 経済統計	056
11 ■ 45度線分析・乗数理論	060
12 ■ 貨幣供給と貨幣需要	064
13 ■ IS-LM分析	068
14 ■ AD-AS分析	074
15 ■ マンデル・フレミングモデル	078
16 ■ マクロ経済学の諸理論①	082
17 ■ マクロ経済学の諸理論②	086

## 第3章

### 経営法務

01 ■ 会社設立	092
02 ■ 株式会社の機関設計	096
03 ■ 株式会社の機関の詳細①	102
04 ■ 株式会社の機関の詳細②	106
05 ■ 資金調達	110
06 ■ 組織再編	116
07 ■ 持分会社と組合・株式市場	122
08 ■ 倒産	126
09 ■ 産業財産権①	130
10 ■ 産業財産権②	136
11 ■ 産業財産権③	142
12 ■ 著作権	146
13 ■ 不正競争防止法、独占禁止法	150
14 ■ 民法の基礎知識	154
15 ■ 民法総則	158
16 ■ 債権と物権	162

17 ■ 契約	166
18 ■ 相続	170
19 ■ 国際取引など	174
20 ■ その他の法律・契約	178

## 第4章

### 経営情報システム

01 ■ コンピュータの5大装置	184
02 ■ 記憶装置	188
03 ■ ソフトウェア	192
04 ■ プログラム	196
05 ■ ファイル・データ分析	200
06 ■ データベース	204
07 ■ データベース操作、モバイル端末の利用	208
08 ■ ネットワーク	212
09 ■ インターネット	216
10 ■ TCP/IPとプロトコル	220
11 ■ システム構成技術	224
12 ■ セキュリティ	230
13 ■ ソフトウェア開発	236
14 ■ アジャイル開発・テスト	240
15 ■ 開発管理	244
16 ■ 経営情報管理	248
17 ■ Web利用、その他IT関連用語	254

## 第5章

### 中小企業経営・ 中小企業政策

01 ■ 中小企業の統計	260
02 ■ 中小企業の動向①	264
03 ■ 中小企業の動向②	268
04 ■ 中小企業の動向③、 環境変化に対応する中小企業	272
05 ■ 小規模企業白書	276
06 ■ 中小企業関連の法律	280
07 ■ お金関係の支援	284
08 ■ 共済制度・融資制度	288
09 ■ 創業と経営力強化のための支援	292
10 ■ 事業承継・その他の支援	296
11 ■ 下請企業の保護	300
12 ■ 組合・高度化事業	304
13 ■ 中小企業の成長促進のための計画	310
14 ■ 補助金制度	314
索引	322

# 第1章

## はじめに

### はじめに

#### 著者より

本書をお手に取っていただきありがとうございます。

本書をご覧になっていただいているということは、あなたは中小企業診断士の試験に挑戦中もしくは、挑戦しようかどうか検討中の方だと思います。

中小企業診断士試験(以下、「診断士試験」と略します。)は、現代のビジネスの場で必要とされる知識が求められる試験であり、1次試験の勉強を通じて幅広いビジネス知識を、2次試験の勉強を通じてその応用力を身につけることができます。しかし、その反面、膨大な知識のインプットは非常に大変な作業であり、1次試験の知識をインプットするだけでも、1科目当たり300ページから400ページあるテキストを7科目分せせと読み込まなければいけません。また、それだけ学習範囲の広い試験ですので、1次試験を突破するためだけでも、平均1,000時間程度の時間が必要になるといわれています。

しかし、診断士試験を受験される方は仕事でも家庭でもそれぞれ重要な役割を果たしておられる方も多いため、それらと両立しながら勉強時間を確保することは大変なことです。ですから、受験するかしないかを決めることも一大決心だと思いますし、せっかく受験すると決めたのであれば、確実に合格したいという想いも強いと思います。お忙しい中で確実に合格するためには、スキマ時間の活用などによる時間の確保と、効率の良い知識インプット、問題演習の実践が不可欠です。

本書は、診断士試験の受験を検討中の方には診断士試験に必要な知識の全体像をビジュアルで把握していただくことを、受験勉強中の方には今年の試験に合格するための知識を重要論点だけに絞って効率良く獲得していただくことを目的としたテキストです。

本書の1番の売りである「まとめシート」は主要論点を1枚のシートにまとめ、その論点の内容が一目でわかるようにしたものです。このまとめシートを活用することで、多忙な受験生でも

- 診断士試験に必要な知識を俯瞰する
- 今年の診断士試験に必要な知識の範囲と分量を効率的に獲得することが可能となります。

それぞれのまとめシートの後には、より詳細な説明をテキストとしてご用意しておりますので、理解を一層深めていただくことができます。さらに、「すぐやる！過去問コーナー」で、まとめシート・テキストで得た知識をアウトプットすれば、知識をより定着させることができます。

また、本書に加えて、より効率的な学習ができるよう、本書の内容に準拠した音声教材やチェックテストも販売しております（別売）。巻末に案内を掲載しておりますので、興味のある方はぜひご覧ください。

診断士試験の受験を検討されている方は、まず本書で全体を把握した上で、挑戦への決断の材料としていただき、診断士試験の勉強中の方は、本書を用いて効率的に知識を獲得していただければと思います。

本書は、著者が受験生時代、効率的に知識を獲得するために作ったまとめシートを元に、多くの受験生の方にとってわかりやすくなるよう再編集した参考書です。著者は、2016年の10月より診断士試験の学習を開始し、実際に本書のまとめシートを活用することで、2017年8月に行われた1次試験を545点という得点で通過し、2次試験もストレートで合格できました。

1次試験では545点という高得点を取ることができましたが、闇雲に知識の範囲を広げたわけではなく、その知識は、ほぼこのまとめシートに書いてあることと、それを元に解いた過去問によるものでした。

当時著者がまとめシートを共有した複数の勉強仲間も、まとめシートを活用したことで1次試験を突破することができました。他にも多くの方に「ぜひこのシートを世に出してほしい」という声をいただいたため、2018年1月に初版を出版しました。

今回の2025年度版は第8版となりますが、おかげさまで初版から第7版までAmazonの中小企業診断士試験カテゴリでは、ベストセラー1位を獲得するなど好評を博し、昨年度は売り切れにより入手が難しい時期が生じるほどとなりました。2025年度版となる本書は2024年度の試験内容や最新の合格者の声を反映した上で、2025年度の診断士1次試験に向け論点の追加や修正を行い、よりわかりやすく、覚えやすくなるよう改訂したものです。

本書では、できるだけ楽しみながら学習していただくため、かみ砕いたわかりやすい表現を重視し、記憶に残りやすいよう具体例やイラスト、語呂合わせを多数使用しております。これは、他の書籍にはない本書独自のものと自負しております。一目でわかって何度も見ているうちに自然と覚えてしまう、そんな教材でみなさまの目標達成をサポートいたします。

本書を用いることで、みなさまの効率的な学習の手助けとなることを願っております。



令和7年1月11日

中小企業診断士  
野網 美帆子

# まとめシートの効果的な使い方

YouTubeでも解説してます



## まとめシートの使い方

YouTube「まとめシート流！絶対合格チャンネル」

### まとめシートの構成

論点毎にまとめシート+テキスト3~5ページ

▼テキストの最後には「すぐやる!過去問コーナー」も掲載



まとめシート



テキスト

### まとめシートの使い方

- ①まとめシートを眺める  
どんなことが書いてありそうか  
自分なりにストーリーを頭に描く
  - ②テキスト部分を読む  
①でイメージしたことの  
答え合わせのつもりで読む
  - ③もう一度まとめシートを見る  
テキストの内容を思い出しなが  
らもう一度見る
  - ④問題を解く **重要!**  
「すぐやる!過去問コーナー」の問題で  
知識の使い方を知り、知識を定着させる
- スキマ時間を活用  
購入特典PDFをスマホなどに入れて、  
スキマ時間に眺めて記憶を定着させる

別売  
教材

チェックテスト

1科目の学習が終わるごとにチェックテストで理解度を確認  
独学の方の学習のマイルストーンにも!

音声教材

通勤中や家事・育児の最中、  
運動中のながら学習で時間を有効に活用



耳からの  
インプットに

※別売教材に関しては  
巻末の案内もご覧  
ください

## ツールを活用しよう

スマホに入れてスキマ時間の有効活用!

【購入特典 まとめシートPDF】

購入特典として、まとめシートHPより  
まとめシートのPDFデータがダウンロード可能



購入特典ダウンロード用ページ

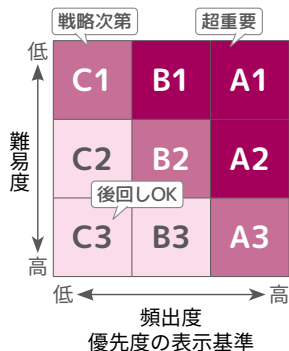
スマホに  
保存すれば  
いつでも  
チェックOK



スキマ時間で  
効率的に復習!

独学者の強い味方! どこに力を入れればいいのかすぐわかる

【難易度×頻出度を踏まえた優先度表示】



まとめシートのキャラクター  
「まとっち」が優先度を表示



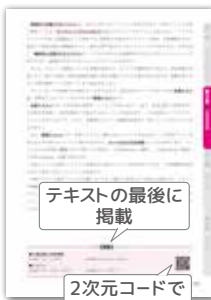
超重要

頻出度 A B C  
難易度 1 2 3

頻: 頻出度 (A~C)  
難: 難易度 (1~3)

問題の使い方を知り、アウトプットで知識を定着

【すぐやる!過去問コーナーと「論点別過去問集」】



まとめシートで学習した論点  
に関連の深い過去問を掲載

レベル1

みんなが解ける  
簡単~普通レベルの問題

レベル2

応用が必要な  
やや難しいレベルの問題

レベル3

解けなくても仕方がない  
非常に難しいレベルの問題

テキストの最後に  
掲載

2次元コードで  
問題をチェック

掲載せず

購入特典として、まとめシートHPより  
「論点別過去問集」のデータがダウンロード可能

初学者・独学者必見! 勉強法の参考に

【勉強法がわかるコラム】

合間合間には勉強法など試験対策に  
役立つコラムを掲載

勉強の合間に  
チェックしよう



知識の定着に

【暗記カード用データ (情報、中小)】

お使いの単語カードアプリなどに  
入れて暗記に活用



# 01 まとめシートの効果的な使い方

## まとめシートの使い方

本書は、各論点の内容を1論点1枚のシートにまとめた「まとめシート」と、それを解説したテキストによって構成されています。テキストでは、まとめシートに書かれている内容の理解が深まるよう説明を加えています。

まとめシートを効果的に活用するには、まずはまとめシートを眺め、どんなことが書いてありそうか自分なりにストーリーを頭に描いてみてください。次に、テキストを読むにあたり、最初にイメージしたストーリーの答え合わせのつもりで読んでいきましょう。テキストを読み終わったら、テキストの内容を思い出しながらも一度まとめシートを読んでいきます。そして、テキストとまとめシートで大枠を把握したら、早速「**すぐやる！過去問コーナー**」(後述)に掲載されている過去問にトライしましょう。このとき、まだ内容は覚えていなくてもOKです。まとめシートを手元に置きながら、実際の問題ではまとめシートに書いてある知識がどのように問われているのかということを確認し、実際の問題と知識の紐付けを行っていきましょう。一度学習した後も、購入特典のまとめシートPDFをスマホなどに入れ、スキマ時間に眺めることで知識を定着させます。

また、本書とは別売りとなりますが、**理解度チェックテスト**や**音声教材**を活用いただくとより効率的に学習することができます。**理解度チェックテスト**は、1科目の学習が終わったタイミングで活用いただければ、その科目の理解度を確認することができます。**音声教材**は、本書の内容を読み上げたもので、耳からのインプットの方が頭に入ってくるやすい方や、ながら学習に活用したい方におすすめです。

なお、まとめシートの効果的な使い方については、YouTubeチャンネル「**まとめシート流！絶対合格チャンネル**」でもご紹介していますので、そちらもご参照いただくと幸いです。

また、まだ診断士試験を受験しようかどうか迷っている段階の方は、まずはまとめシートを眺めてみて、興味のある分野からテキストを読み進め、診断士試験ではどのようなことを学ぶのかを把握してみてください。その上で、この資格に挑戦するために自分の時間を割く価値はあるかを検討していただければと思います。願わくは、本書が中小企業診断士の世界への挑戦のきっかけとなりますように。

## ツールを活用しよう

### 購入特典 まとめシート PDF

本書は購入特典として、**まとめシートのPDFデータがダウンロードできます**。このPDFデータをご自身のスマートフォンやタブレットに保存していただければ、スキマ時間にいつでもまとめシートを眺めることができます。筆者も受験生時代は、電車での通勤時間や、ちょっとした待ち時間など、暇さえあればまとめシートを眺めていました。まとめシートはイラストや図を多く使用していますので、何度も眺めているうちに「あれはまとめシートのあの部分に書いてあった」と、ビジュアルで知識を思い出すことができるようになります。

ぜひすぐに取り出せる場所にまとめシートを準備し、スキマ時間を有効活用して知識を定着させましょう。過去問を解きながら、追加的に覚えたい知識を余白に書き込んでいくのも良い対策となります。なお、**購入特典のダウンロード方法は巻末の特典案内ページに記載しております**のでそちらをご参照ください。

### 難易度×頻出度を踏まえた優先順位表示

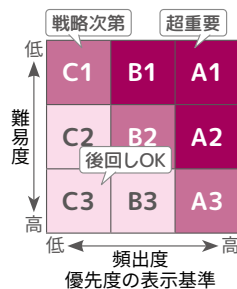
1次試験の試験範囲は非常に広いため、特に重要な論点を優先順位付けしながら学習していくことが重要です。といっても、初学者や独学者の方にとってはどこが重要な論点なのかという判断も難しいかと思います。

試験における重要度は得点の取りやすさという観点から頻出度と難易度を踏まえて「**超重要**」、「**戦略次第**」、「**後回しOK**」の3つに分類しました。重要度に頻度だけでなく難易度という観点を入れたのは、勉強に投入する時間がどれだけ得点に結び付きやすいかという点が効率面で重要となってくるからです。

例えば、経営情報システムでは統計解析の問題が1問もしくは2問出題されることがあります。しかし、この分野を真面目に勉強しようとする1科目分くらいあるのではと思うほどのボリュームがある上、例年非常に難易度が高いため、多くの受験生が鉛筆転がしでマークを塗りつぶしているような状況です。勉強時間に対する得点というタイムパフォーマンスで考えると、高い難易度の論点に時間を割くくらいであれば、頻出度は若干落ちますが、解きやすい問題が多い論点に時間を投入した方が効率的だといえます。

そのため、本書では平成27年～令和6年までの過去問を著者がすべて解き、論点毎に**頻出度をA～C**に、**難易度をレベル1～3**に分類しました。そして、それらを踏まえ、よく出題されて難易度も高くない論点を「超重要」、頻出度が低く難易度が高い論点を「後回し」、最優先でも後回しでもない論点を「戦略次第」としました。

この難易度は、各論点のテキストの右上でまとめシートのキャラクターの「まもっち」が示してくれていますので、勉強の優先順位付けをする際の参考としてください。





## すぐやる！ 過去問コーナーと購入特典「論点別過去問集」

テキストの最後には、学習した知識をアウトプットして定着させられるようにするために「**すぐやる！ 過去問コーナー**」を設けました。

「すぐやる！ 過去問コーナー」では、その論点を勉強したら解いてほしい過去問をピックアップしましたので、ぜひ解いてみてください。なお、紹介する過去問は難易度別にレベル分けをしています。

**レベル1**の問題は、みんなが得点できるレベルの、テキストに書いてあることをそのまま使ったり、少し応用すれば解ける簡単～普通レベルの問題です。

**レベル2**の問題は、テキストに書いてあることから応用が必要であったり、ちょっとマニアックな知識が要求されるやや難しいレベルの問題です。

**レベル3**の問題は、解けなくても仕方がないような非常に難しいレベルの問題です。

分類の際はレベル3まで分類しましたが、レベル3はみんなが解けない、もしくはマニアック過ぎて解けなくても仕方がない問題ですので、「すぐやる！ 過去問コーナー」にはあえて掲載していません。すぐやる！ 過去問コーナーに挑戦される場合、まずはテキストを読み、レベル1に挑戦してみてください。そして、ある程度慣れたらレベル2に挑戦してみてください。

なお、該当する過去問をその都度探すのは大変かと思しますので、今回は購入特典として、本書に掲載の「すぐやる！ 過去問コーナー」で紹介した過去問を論点別に並び替えた論点別過去問集をご用意しました。**論点別過去問集のダウンロード方法は、まとめシートPDF版と同様に巻末の特典案内ページに記載しています**。問題のみで解説はありませんが、読者サービスとしてまとめシートHPのブログで1日1問過去問の解説をしていますので、解説済みの問題はそちらを参照されるのも良いでしょう。

また、「すぐやる！ 過去問コーナー」の横にある二次元コードをスマホで読み取ると、その論点の過去問集PDFをすぐに見ることができます。まとめシートを読んで、このすぐやる！ 過去問コーナーの問題でアウトプットすることで知識をより定着させることができます。

## 勉強法がわかるコラム

各シートの合間には、各科目の勉強法や勉強計画の立て方、試験対策などに役立つコラムもご用意しました。勉強の合間にご覧いただき、勉強法を見直す際の参考としてください。

## 暗記カード用データで知識の定着(情報、中小)

暗記系科目である経営情報システムと中小企業経営・中小企業政策は、暗記カード用データも購入特典として用意しました。こちらのデータをお使いの単語カードアプリなどに入れていただきますと、暗記に活用することができます。

# 第2章

## 経済学・経済政策

### 経済学・経済政策

経済学は、現実の経済をモデル化して分析することで、現実の経済現象を説明しようという学問です。経済学は大きく個々の企業や個々の消費者、ある特定の財の市場について分析する**ミクロ経済学**と国全体の経済を分析する**マクロ経済学**の2つの分野に分かれます。

**ミクロ経済学**では、まず、個々の企業の行動を理解するため、企業は生産量をどのように決めるのかについて分析します。企業の行動を分析することで供給曲線を、消費者の行動を分析することで需要曲線を導くことができます。

これらの需要曲線、供給曲線を使うことで、完全競争市場において価格や製品の量がどのように決定されるのかということが説明できます。ただし、実際の経済では、様々な要因により完全競争市場が実現されない場合も多くあります。そのため、完全競争市場でない場合には、価格や生産量はどのように決定されるのかについても学びます。さらに、市場の動きに任せても最適な資源配分がなされない市場の失敗についても学びます。

**マクロ経済学**では、国全体の経済を分析します。国全体の経済では、財市場、貨幣市場、労働市場の3つがお互いに影響を与えながら、国民所得 (GDP) が決まっていきます。

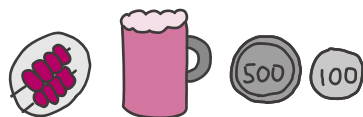
そのため、マクロ経済学の分野では、まずは国民所得とは何かということについて学び、財市場、貨幣市場それぞれの動きを学んだ後、財市場と貨幣市場を同時に分析するIS-LM分析について学びます。さらに、財市場、貨幣市場に労働市場も考慮したAD-AS分析について学びます。また、国内だけでなく海外の影響も考慮したIS-LM-BP分析や、その他のマクロ経済学の諸理論についても学びます。



# まとめシート

## ミクロ経済

SHEET 01 ~ 08



個々の企業や個々の消費者、  
ある特定の財の市場について分析する

## マクロ経済

SHEET 09 ~ 17



国全体の経済を分析する

SHEET 00	最低限覚えてほしい経済学で使う数学	010
SHEET 01	費用関数と生産関数	016
SHEET 02	無差別曲線	022
SHEET 03	需要曲線と供給曲線	026
SHEET 04	スルツキー分解	030
SHEET 05	余剰分析	034
SHEET 06	独占・自然独占・寡占	038
SHEET 07	ゲーム理論・比較優位	042
SHEET 08	市場の失敗	046
SHEET 09	GDPと物価	050
SHEET 10	経済統計	056
SHEET 11	45度線分析・乗数理論	060
SHEET 12	貨幣供給と貨幣需要	064
SHEET 13	IS-LM分析	068
SHEET 14	AD-AS分析	074
SHEET 15	マンデル・フレミングモデル	078
SHEET 16	マクロ経済学の諸理論①	082
SHEET 17	マクロ経済学の諸理論②	086

# SHEET 00 最低限覚えてほしい経済学で使う数学

## 1. 文字式

**文字式：**具体的な数字でなく a,b,X,Y といった文字で表す式  
 → 後でどんな数字が入ってきても使い回せるようにするため

### 分数の文字式

プラスのとき  
 分子が増える：値が大きくなる  
 マイナスのとき（プラスと逆）  
 分子が増える：値が大きくなる

分母が増える：値が小さくなる  
 分母が増える：値が大きくなる

分母が無限大 $\infty$ だと0、  
 分母が0だと無限大になる

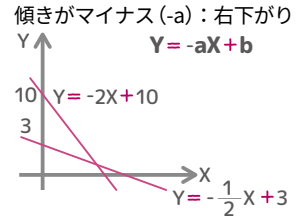
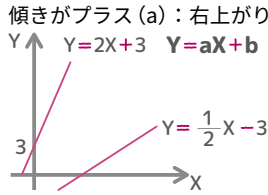
分子  $\frac{a}{b}$  が増えると大きくなる  
 分母  $\frac{a}{b}$  が増えると小さくなる

マイナス  $-\frac{a}{b}$  が増えると小さくなる  
 分母  $-\frac{a}{b}$  が増えると大きくなる

## 2. 1次関数とグラフ

### 関数とは？

ある値を別の値に変換するためのルールを示したもの  $aX+b$  など  
 Xの関数ということを表すのに  $Y(X) = (Xを使った式)$   
 fやcなどの文字と表す場合も



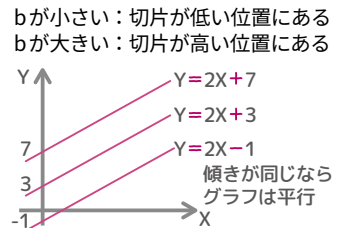
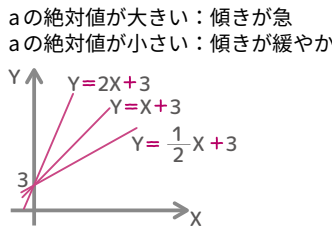
### 1次関数とは？

Xが変化するのに伴って下の「1次関数の式」のようにYが変化するというルール

### 1次関数の式とグラフ

$Y = aX + b$  X, Y: 変数  
 a, b: 定数  
 傾き 切片

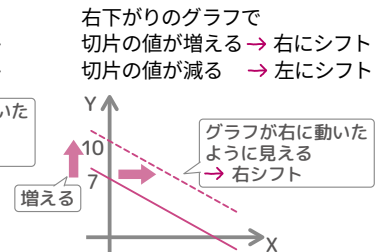
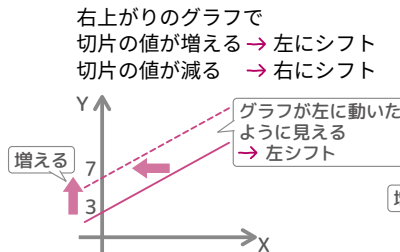
傾きが0：グラフは水平  
 傾きが無限大 $\infty$ ：グラフは垂直



### シフトと移動

シフト  
 グラフ自体が動く  
 → 式が変化

移動  
 グラフの中を移動する  
 → 式は変化しない



## 3. グラフの接線と微分

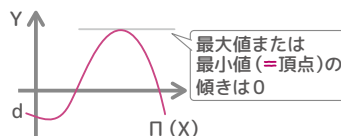
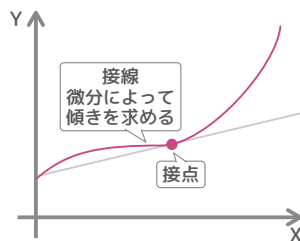
### 接線とは？

グラフ上のある点に接する直線のこと  
 1次関数ではグラフと接線は一致

### 接線の傾き

Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかを示す  
 グラフの曲線を微分することで求める  
 → 経済学で限界○○ということの接線の傾きの度合いのこと

微分=0のとき、グラフの接線の傾きは0となり、最大値または最小値をとる



## 4. これだけ覚える微分

### 微分のルール

$$aX^n \xrightarrow{\text{微分}} anX^{n-1}$$

具体的には…

$aX^2$ の微分： $3aX^2$   
 $bX^2$ の微分： $2bX$   
 $cX$ の微分： $c$   
 $d$ の微分： $0$

これだけ覚えてしまえばOK!

d: 定数

プライム

Xの関数Y(X)の微分はY'(X)と表す  
 (例) Y(X) =  $bX^2$ のとき、Y'(X) =  $2bX$

経済学では、多くの数式やグラフが出てきます。ただし、中小企業診断士試験の経済学の範囲では、それほど難解な数学の理論が必要となるわけではないため、元々理系の方など数学に苦手意識のない方は比較的スムーズに学習を進めることができるでしょう。

しかし、経済学が苦手でもいくら勉強してもなかなか点数に結び付かないという方の中には、お話を伺っていると、実は経済学の前の段階の基本的な数学の理解が曖昧だったから、経済学の問題も上手く解けなかった、という方が一定数います。

そこで、以下ではシート00として、どれだけ数学が苦手でも、診断士試験の経済学の問題に対応する上で、最低限押さえておいてほしい基本的な数学について説明します。

数学というと「どうしても自分には無理」と思う方もいるかもしれません。しかし、数学だと思わず、経済学の問題を解くために必要なお作法だと思い、必要最低限の内容を押さえるようにしましょう。ノートを用意して、実際に手を動かしながら読むと理解がより進みます。(逆に問題なく理解できる方は、本シートは読み飛ばしていただいて結構です。)

## 1. 文字式

**文字式**とは、例えば $a+b=c$ といったように、式を具体的な数字でなく、 $a$ 、 $b$ 、 $X$ 、 $Y$ といった文字で表したものです。文字式は、文字の部分に後でどんな数字が入ってきても使い回せるようにするために使われます。また文字式の文字にはアルファベットの他に $\Pi$  (パイ) や  $\eta$  (エータ)、 $\varepsilon$  (イブシロン) などのギリシャ文字が使われる場合もあります。

アルファベットで式が書いてあったり、さらにはそこにギリシャ文字が入ってきたりすると難しそうに見えますが、あくまでも「そこに〇〇を表す数字が入ります」ということを示しているだけで、過度に恐れる必要はありません。

分数の分子、分母もそれぞれ文字で表す場合があります。分数の文字式も文字の中に何らかの数字が入るということは同じで、**分子が増えると値が大きくなり、分母が増えると値が小さくなります**。分数の前にマイナスがついているときは、逆に分子が増えると値が小さくなり、分母が増えると値が大きくなります。

なかなかイメージしにくい場合は、例えば $a/b$ で $a=2$ 、 $b=3$ で $2/3$ だったのが、 $b$ が増え、 $b=4$ になるとどうなるか、というように自分で実際の数字を当てはめてみながら数字の大小の変化を確認してみましょう。

また、プラスマイナスどちらでも、**分母が無限大**まで大きくなると値はほぼ**0**となり、**分母が0**だと絶対値は**無限大**になります。(絶対値：数字から $+/-$ を除いたもの)

## 2. 1次関数とグラフ

**関数**とは、ある値を別の値に変換するためのルールを示したものです。**1次関数**とは、Xが変化するに伴って $Y = aX + b$ のようにYが変化するというルールのことです。このとき、いろいろな値に変化しうるX、Yを**変数**、変化しないa、bを**定数**といいます。Xの変化に伴って関数Yが変化することを、「YはXの関数」や「Xの関数Y」と表現する場合があります。また、式YがXの関数であることを表すために、 $Y(X) = aX + b$ といったような形で表す場合もあります。

このa、b、X、Yが例えば $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$ というように別の文字や複数の文字で表されたりしても、考え方は同じです。LM曲線の式 $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$ であれば、 $Y = aX + b$ の式のYの部分がi、Xの部分がY、aの部分がk/h、bの部分が $-M/hP$ になった、といったように見せ方が変わっただけです。最初はず、 $Y = aX + b$ という一番単純な1次関数の形を覚えて、a、b、X、Yがどのような文字に変わったのか、ということを経済学で使われる公式と比較しながら一つ一つチェックして徐々に慣れていくようにしましょう。

そして、経済学の問題を解く上で非常に重要となってくるのが、1次関数の式とグラフの関係です。1次関数 $Y = aX + b$ の式では、aを**傾き**、bを**切片**と呼びます。

グラフとは、Xがある値のときYはどういう値になるのかということを図に示したものです。1次関数のグラフは直線で表すことができ、傾きaがプラスであれば右上がりの、傾きaがマイナスであれば右下がりの直線となります。また傾きが0のときはX軸に対して**水平**の、傾きが**無限大**( $\infty$ )のときはX軸に対して**垂直**の直線となります。

### 1次関数の式とグラフ

例えば $Y = 2X + 3$ や $Y = \frac{1}{2}X + 3$ のグラフは、傾き、つまり $Y = aX + b$ の式のaの部分が2、 $\frac{1}{2}$ とプラスですので右上がりの直線に、 $Y = -2X + 10$ や $Y = -\frac{1}{2}X + 3$ のグラフは傾きaが-2、 $-\frac{1}{2}$ とマイナスですので右下がりの直線になります。

さらに、ある値において±を除いた数字の部分を**絶対値**といいます(例: 2の絶対値は2、-2の絶対値も2)、**傾き**の度合いはaの絶対値の大きさに左右されます。図0-1のようにaの絶対値が大きければ傾きが**急**に、aの絶対値が小さければ傾きが**緩やか**になります。また、傾きはXが1増えた時のYの増加分で計算できます。

また、 $Y = aX + b$ の式のbの部分である切片とは、 $X = 0$ のときのYの値のことで、図0-2のようにbの値が小さければ切片は低い位置にあり、bの値が大きければ切片は高い位置にあります。なお、傾きが同じ式の場合は、グラフは平行になります。

### シフトと移動

**右上がりのグラフ**では、切片の値が増えた場合、グラフは上に移動しますが、同時に左に動いたようにも見えます。そのため、切片の値が増えグラフが上(見た目は左に)に移動することを「**グラフが左にシフト**する」といいます。逆に切片の値が減った場合、グラフは下に移動し、同時に右に動いた

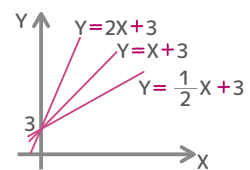


図0-1 絶対値の大きさと傾き

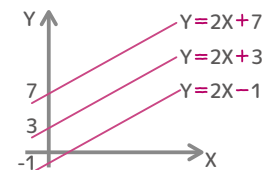


図0-2 切片の大きさと位置

ように見えますので、「グラフは**右にシフト**する」といいます。逆に**右下がりのグラフ**の場合は切片の値が増えるとグラフは**右にシフト**し、切片の値が減るとグラフは**左にシフト**します。これは実際に自分で何度か書いてみるとすぐ理解できるでしょう。(図0-3を参照)

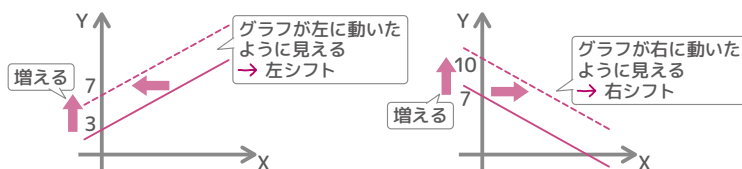


図0-3 左シフトと右シフト

以上を整理しますと、「 **$Y = aX + b$ の式で、 $a$ が変化するとグラフの傾きが変化し、 $b$ が変化するとグラフが右または左にシフトする**」といえます。

なお、1次関数のグラフは、 $Y = aX + b$ の式で $X$ がある値のとき $Y$ はどういう値になるのかということを図に示したものですので、 $a$ 、 $b$ の値が変化せず $X$ または $Y$ の値が変化した場合は、グラフの形は変化することなく、 $Y = aX + b$ の式を表したグラフの直線上のある点からある点に点が移動したという形になります。

以下にごく基本的な練習問題を掲載しましたが、練習問題を解いてみてやっぱりイマイチわからない、という場合は、自分で何度か1次関数の式からグラフを作ってみてグラフと式の関係について理解を深めるようにしましょう。

### 練習問題

- ①  $Y = \frac{2}{3}X - 1$ のグラフは右下がりですか？右上がりですか？
- ②  $Y = \frac{1}{2}X - 1$ と $Y = 3X - 1$ のグラフではどちらのグラフの傾きが急ですか？
- ③  $Y = -X - 1$ の切片が3になったらグラフは右、左どちらにシフトしますか？
- ④  $X = (1 - a)/b$ のとき、 $a$ の値が大きくなったら $X$ の値は大きくなりますか？小さくなりますか？  
( $a, b$ は正の値で $a > 1$ )
- ⑤  $X = -cd/e$ のとき、 $e$ が大きくなったら $X$ の値は大きくなりますか？小さくなりますか？  
( $c, d, e$ は正の値)
- ⑥ IS曲線の式は $Y$ の関数 $i$ を  $i = -\frac{1-c}{b}Y + \frac{-cT + C_0 + I_0 + G}{b}$ と表します。左式の中で $c$ が小さくなったらグラフはどう変化しますか？ ( $c, b, T, C_0, I_0, G$ は正の値、 $b, c < 1$ )
- ⑦ LM曲線の式は $Y$ の関数 $i$ を  $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$ と表します。左式の中で $h$ が大きくなったらグラフはどう変化しますか？ ( $k, h, M, P$ は正の値)

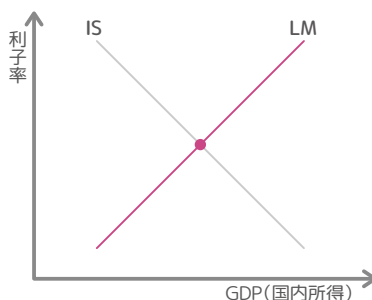
答え ①右上がり、② $Y = 3X - 1$ 、③右、④小さくなる、⑤大きくなる、⑥傾きが急になり、グラフは右にシフトする、⑦傾きが緩やかになり、グラフは左にシフトする

また、以上のことがわかっていれば、下記のようなIS-LM分析の問題は数式の処理の問題として解けるはずです。

**H19 第5問**

下図はIS曲線とLM曲線を描いたものである。それぞれの説明として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 貨幣供給の減少はLM曲線を右方にシフトさせる。
- b 貨幣需要の利子弾力性が大きいほど、LM曲線は、より急な形状で描かれる。
- c 限界消費性向の値が大きいほど、IS曲線は、より急な形状で描かれる。
- d 政府支出の増加はIS曲線を右方にシフトさせる。
- e 投資の利子弾力性が小さいほど、IS曲線は、より急な形状で描かれる。



**【解答群】**

ア aとb    イ aとc    ウ bとe    エ cとd    オ dとe

詳しくは **SHEET 13 ■ IS-LM 分析** で説明しますが、IS曲線、LM曲線は、以下のような式で、利子率を  $i$ 、GDPを  $Y$  と置くと、以下の式で表せます。

IS曲線  $i = -\frac{1-c}{b}Y + \frac{-cT+C_0+I_0+G}{b}$     b: 投資の利子弾力性    h: 貨幣需要の利子弾力性  
 LM曲線  $i = \frac{k}{h}Y - \frac{M}{hP}$     c: 限界消費性向 ( $0 < c < 1$ )    G: 政府支出    M: 貨幣供給

この場合、説明a～eは以下のように読みかえることができます。

このように読みかえれば、式とグラフの変化から○×が判断できます。

- a LM曲線の式でMが小さくなるとグラフは右にシフトするか?    解答: ×
- b LM曲線の式でhが大きくなるとグラフの傾きは急になるか?    解答: ×
- c IS曲線の式でcが大きくなるとグラフの傾きは急になるか?    解答: ×
- d IS曲線の式でGが大きくなるとグラフは右にシフトするか?    解答: ○
- e IS曲線の式でbが小さくなるとグラフの傾きは急になるか?    解答: ○

以上から、dとeが○なので正解はオとなります。

他にも式の傾きと切片の考え方を理解しているだけで解ける問題や、選択肢が絞れる問題は多くありますので、1次関数の式とグラフの関係はしっかり押さえておきましょう。



### 3. グラフの接線と微分

ここまで、直線で表すことのできる1次関数について取り上げてきましたが、ミクロ経済の分野では曲線で表される関数も出てきます。そのとき理解しておきたいのがグラフの**接線**とその傾きについてです。

**接線**とは、図0-4のようにグラフ上のある点に接する直線のことをいいます。

また、グラフ上のある点の接線の傾きとは、その接点で、Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかを示しています。そして、接線の傾きはグラフの曲線を**微分**することで求めることができます。

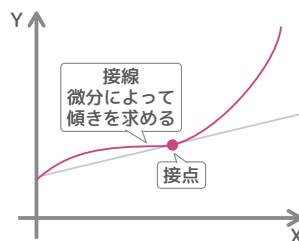


図0-4 グラフの接線とその傾き

なお、経済学で限界〇〇という用語が出てきた場合、ある点において、Xが1単位増加するときYがどれだけ増加するかということを示したもので、つまり、グラフの接線の傾きの度合いのことを意味しています。また、微分=0となる点は、グラフ上では傾きが0となり、傾きが0となる点は最大値または最小値をとります。(※注)

ちなみに、グラフの形と呼び方についてですが、グラフの見た目上、直線で示されるものも「曲線」と呼ぶ場合がありますので、注意するようにしましょう。

※注 厳密にはそうでない場合もありますが、少なくとも診断士試験の場合は傾き=0の点は最大値または最小値、と覚えておいて問題ありません。

### 4. これだけ覚える微分

さて、グラフの接線の傾きを求めるためには**微分**が必要と説明しましたが、診断士試験に必要な微分は $aX^n$ の微分のみです。

$aX^3$ 、 $bX^2$ 、 $cX$ といった $aX^n$ の微分は右記のように $anX^{n-1}$ と表すことができます。つまり、 $aX^3$ の微分は $n=3$ を $anX^{n-1}$ にあてはめて、 $a \times 3X^{3-1} = 3aX^2$ となります。ちなみに定数 $d$ の場合は0となりますが、 $d \times X^0$ なので、 $d \times 0X^{0-1} = 0$ となると考えると良いでしょう。

$$aX^n \xrightarrow{\text{微分}} aX^{n-1}$$

- $aX^3$ の微分： $3aX^2$
- $bX^2$ の微分： $2bX$
- $cX$ の微分： $c$
- $d$ の微分： $0$

図0-5 微分の説明

数学は苦手という方は、診断士試験で使われる微分は3次関数の微分までですので、細かいことは深く考えず、右の枠で囲われた部分を覚えてしまい「微分をする」となったら、式の中のそれぞれの文字を覚えた通り置き換えてしまえばOKです。あくまでも問題を解くためのお作法と割り切ってしまいましょう。

なお、Xの関数Y(X)の微分を表す際は「'」(プライム)という記号が使われる場合もあります。このとき、Yの微分は $Y'(X)$ という形で表します。(例： $Y(X) = bX^2$ のとき、 $Y'(X) = 2bX$ )

2025 中小企業診断士 一次試験

## まとめシート

⑩ [全科目セット]

- 企業経営理論 ●財務・会計 ●運営管理
- 経済学・経営政策 ●経営法務 ●経営情報システム
- 中小企業経営・中小企業政策

全7科目

聴けばわかる!  
覚えしなう!

ながら学習に最適!  
いつでもどこでも学べる!

ダウンロード専用

**音声教材**

通勤しながら  
運動しながら  
家事しながら

一次試験  
対策

primary exam

2025 中小企業診断士 一次試験

## まとめシート

⑩ [全科目セット]

- 企業経営理論 ●財務・会計
- 運営管理 ●経済学・経営政策
- 経営法務
- 経営情報システム
- 中小企業経営・中小企業政策

全7科目

まずはこれで  
100点を  
目指そう!

絶対取りたい基本問題に  
絞ってあるから  
理解度のチェックに最適!

ダウンロード専用

**チェックテスト**

独学者の  
強い味方

最新試験に  
対応した  
問題

2025年度版  
二次試験

## 中小企業診断士

合格

# まとめシート

## まとめシートの内容が 耳からもインプット!

まとめシート書籍のテキスト部分を  
音声化した教材です。

**音声教材**  
ならできる!

- 耳からのインプットで暗記効率アップ
- 通勤・家事・育児・運動中のながら学習
- まとめシートPDFと併用でスキマ時間に本気学習

限られた時間を1分1秒も無駄にたくない!  
そんな方におすすめ!

セット購入がお得! 1科目単位からもご購入いただけます。

## 学習した内容の基礎がために!

まとめシートの内容を元にした  
オリジナルのチェックテストです。

**チェック  
テスト**  
ならできる!

- 絶対に取りたい基本問題に絞った問題演習
- まとめシートを使った効率的なインプットとアウトプット
- 独学の方の試験本番までの学習の進捗管理
- 最新の試験に対応した問題へのチャレンジ

独学者の学習の定着度チェックに最適!  
セット購入がお得!

1科目単位からもご購入いただけます。

## まとめシート流! ゼロから始める2次対策

二次試験  
対策

secondary exam

## まとめシート流! 解法実況シリーズ

中小企業診断士 2次試験

### 「まとめシート」流! ゼロから始める2次対策

1次試験はなんとか合格できたけど、  
2次試験ってどんな風に対策すればいいの?

そんな疑問をお持ちの方のために  
ゼロから解説します。

2次試験の概要  
問題の解き方や勉強法  
独学では知ることができない  
2次試験の鉄則

2次試験初心者  
必見!

ゼロから  
始める  
二次対策  
なら分かる!

- 2次試験の概要
- 問題の解き方や勉強法
- 独学では知ることができない2次試験の鉄則

解法実況  
シリーズは  
実況方式で  
解説!

- 80分で現実的な合格答案を書く為の考え方やプロセス
- 問題への対応方法

中小企業診断士 2次試験

### 「まとめシート」流! 解法実況 (本題1~10) 6冊

独学ではなかなか抱けない  
2次試験の「80分の追越し方」  
についてじっくり解説します。

# 中小企業診断士 資格まとめシート

シリーズがあなたの合格をサポートします

## 一次試験対策

基本のテキスト

書籍



### 一発合格まとめシート (全7科目)

試験の重要ポイントを1枚に凝縮した「まとめシート」で、試験の全体像と要点が一目でわかる！

前編 (経営、財務、運営)  
後編 (経済、法務、情報、中小)  
価格: **3,630円** (税込)

耳からのインプットに…

ダウンロード教材



### 一発合格まとめシート 音声教材

科目別: 各**990円** (税込)  
前編セット: **2,822円** (税込) **5%OFF**  
後編セット: **3,762円** (税込) **5%OFF**  
全科目セット: **6,237円** (税込) **10%OFF**

一発合格まとめシートのテキスト部分を読み上げ、音声化。通勤中や家事・育児の最中、運動中ながら学習に。

学習内容の理解度チェックに…

ダウンロード教材



### 一発合格まとめシート 理解度チェックテスト (全7科目)

科目別: 各**550円** (税込)  
前編セット: **1,568円** (税込) **5%OFF**  
後編セット: **2,090円** (税込) **5%OFF**  
全科目セット: **3,465円** (税込) **10%OFF**

まとめシートの内容がベースの確認テストです。独学者の強い味方！

## 一次試験合格

## 二次試験対策

二次試験の解き方を知る

電子書籍



### 「まとめシート」流! ゼロから始める2次対策

価格: **880円** (税込)

二次試験の解き方や概要を2次試験の前知識ゼロの方にも丁寧に解説。

過去問演習のお供に

電子書籍



### 「まとめシート」流! 解法実況 (事例I~III)

※ R6年度版はR6年1月上旬発売予定

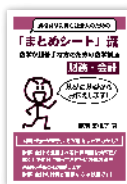
年度別価格: **550円** (税込)  
5年セット価格: **2,613円** (税込) **5%OFF**  
10年セット価格: **4,950円** (税込) **10%OFF**

R6~H24年度 (年度別) 80分で現実的な合格答案を書くために何を考え、どのように処理をすべきかを実況中継方式で解説。予備校の模範解答を見ても凄すぎてとても80分で書ける気がしない…そんな方必見!

## 二次試験合格

### 中小企業診断士

弱点補強に  
電子書籍



資格試験に挑む社会人のための  
「まとめシート」流  
数学が超苦手な方のための  
数学講座

価格: **550円** (税込)



資格試験に挑む社会人のための  
「まとめシート」流  
手計算が速くなる  
計算ドリル

価格: **330円** (税込)

ご購入はこちらから!

まとめシートストア

<https://matome-sheet.store>

